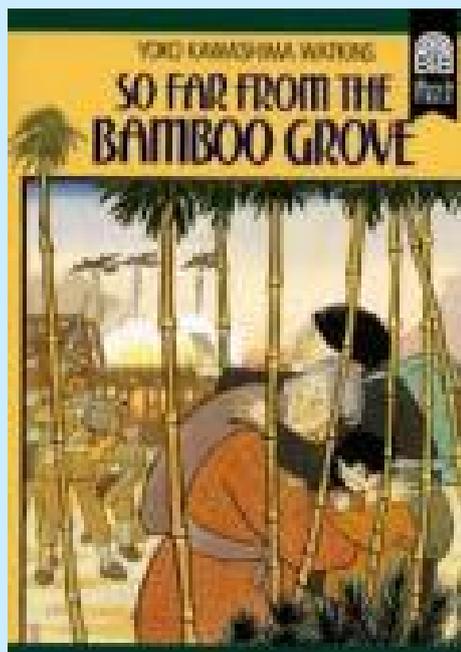


立命館大学生存学研究センター主催 国際シンポジウム

敗戦／引揚げ／性暴力

『竹林はるか遠く』ブームを問い直す



昨年、日本で刊行されたヨーコ・カワシマ・ワトキンスさんの『竹林はるか遠く』は、米国での刊行（1986）から四半世紀を経たいま、日本で爆発的なベストセラーとなっている。これは2005年に韓国で『ヨーコ物語』として刊行されたものが、コリアンの心を傷つけるものとして間もなく発売停止となり、その顛末がかえって日本でのブームにつながるという皮肉な事態になって、今日に至っているものである。

そこで今回のシンポジウムでは、その原作が発売された当時の米国の空気まで遡りながら「従軍慰安婦問題」で揺れた1990年代以降の日米韓の相互関係をふり返り、あらためてそこから何を読み取るべきなのかを考えたい。

企画・進行 西成彦（立命館大学）

講演者： 小林富久子（城西国際大学）、朴裕河（韓国・世宗大学）

討論者： 上野千鶴子（立命館大学）、原佑介（日本学術振興会特別研究員）

※都合により上記予定が変更される場合もあります。

日時： 2014年7月21日（月・祝） 14:00～17:00

（開場予定は13:30となります）

場所： 立命館朱雀キャンパス213教室

参加自由
事前申込不要

JR嵯峨野線および京都市営地下鉄『二条駅』徒歩2分。

京都市営バスおよびJRバス『千本三条朱雀立命館前』下車すぐ。

※駐車場・駐輪場がありませんので、公共交通機関をご利用になりご来場願います。

お問い合わせ先 立命館大学生存学研究センター事務局

電話075-465-8475 FAX075-465-8245 E-mail:ars-vive@st.ritsumei.ac.jp

この企画は、立命館大学国際言語文化研究所ジェンダー研究会と共催で開催いたします。